

9月7日（土）開催！ 緊急シンポジウム

戦前回帰？

「ヤジ排除」から

考える

ニッポンの

今とこれから

◎日時：2019年 **9月7日（土）**

18:45~21:00 （開始前の18:00~18:28まで、表現規制に関連して、森の映画社の沖縄ドローン撮影規制についてのDVDを上映します）

◎会場：エルプラザ2階 環境研修室
（札幌市北区北8西3）

◎参加費：カンパ制

主催・お申込・お問合せ：what's 090-6269-4529 whats.everything@gmail.com

<http://whats-everything.jimdo.com>



法的根拠のない警察によるヤジ排除。脅しに屈したあいちトリエンナーレ 2019「表現の不自由展・その後」の中止事件などなど、子供のころ、「歴史」「過去」として見ていた戦前のドラマを、まるで現実の中で追体験させられているかのような今日この頃。今私たちの身近で何が起きているのでしょうか？ 粛々と様々な形で「不自由」がすすむニッポンの現状について、考えたいと思います。ぜひ、ご参加ください。

～ 登壇者 ～

◎大杉雅栄（おおすぎ まさえ）さん

1988年生まれ。大学生時代から社会問題に興味を持って、活動をしたりしなかったり。現在は、アラサーの福祉系労働者（ソーシャルワーカー）。アナーキストワナビ。最近、安倍晋三にヤジを飛ばして警察に排除されたことで知られる。

& ヤジポイ実行委員のみなさん

排除事件に抗議し、8月10日に「ヤジも言えないこんな世の中じゃ...デモ」を企画した実行委員のみなさん



◎原田 宏二（はらだ こうじ）さん

1937年生まれ。元北海道警察釧路方面本部長。95年退職。2004年2月10日、札幌弁護士会館で、道警の裏金問題について「告白」会見をひらき、同年3月、道議会総務委員会で証言。その後『市民の目フォーラム北海道』を設立し、警察の健全化、透明化、民主化、冤罪事件の根絶を目指して精力的に活動する。著書に『警察内部告発者』、『警察 VS. 警察官』（講談社刊）、『たたかう警官』（ハルキ文庫刊）、『警察崩壊 つくられた”正義”の真実』（旬報社刊）、『警察捜査の正体』（講談社現代新書）がある。

朝日デジタル「論座」欄に掲載されたヤジ排除事件についての4本の記事が高い注目を集める。
<https://webronza.asahi.com/national/articles/2019081300009.html>

◎朴権浩（パクウォノ）さん（韓国）

1967年韓国全羅南道新安郡、人口300人の小さい島で生まれる。中学2年生の時、光州民衆抗争を経験。1992年“ソウル市立大学民主化闘争委員会”委員長として活動。その後、民主労働党結党に参加、2001年から2004年まで民主労働党中央事務局長。2004年から民主労働党国会議員である故ノフェチャン氏の補佐官として国会で活動。現在、政治学博士「専攻：韓国政治」。北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育センター研究員。

◎許仁碩（シュ ジェンシュオ）さん（台湾）

台湾出身。北海道大学法学研究科博士課程在籍（法社会学）。主な警察と社会運動を研究。現NPO法人東アジア市民ネットワーク台湾事務局長、歴史問題や平和運動に取り組み。東アジアにおける政治、社会、警察政策を中心にコラムを執筆。



※ヤジ排除事件※

2019年7月15日、札幌駅前で行われた安倍首相の参議院選応援演説中にヤジを飛ばした人やプラカードを掲げた人が多数の警察官によって強制排除された事件。この強制排除について、北海道警察は8月30日現在にいたるまで法的根拠を示していない。また、大津や埼玉でも同様のヤジ排除が行われており、政権への異論を封殺する動きが強まっている。